

## 1 はじめに

本校は、全学年2クラス、児童数351名である。県・日立市教育委員会の教育目標を基に学習指導要領の趣旨を踏まえ、本年度で創立147年となる本校の伝統を生かし、学校及び地域社会が連携・協力し創意ある教育活動の展開を通し、「たしかな学力をはぐくむ たすけあう心をそだてる たくましい体をつくる」という学校教育目標の達成に努めている。

## 2 資料

### (1) 1年生を迎える会

全学年が体育館に集まって行う、年度初めての大きな児童会行事である。事務局委員会を中心に、計画と準備を行う。2部構成となっており、前半の「1年生を迎える会」、後半の「縦割り班活動」初回をどのように進めていくかについて話し合う。

### (2) 縦割り班活動

縦割り班活動は、毎月1～2回、清掃無しの昼休み「宮田っ子タイム」の時間を活用して、異学年集団遊びを行う。「縦割り班対抗大縄大会」「縦割り班対抗綱引き大会」「縦割り班対抗リレー大会」など、その年々に企画したものを実施する。

### (3) あいさつ運動

委員会活動と並行して、輪番制でクラス毎のあいさつ運動も行っている。学校・家庭・地域が連携してあいさつ運動することにより、児童のあいさつの定着を図っている。

### (4) ペットボトルキャップ・プルタブ回収

ペットボトルキャップとプルタブの回収を行っている。1～6年生の全クラスに回収場所を作り、いつでも持ってこられるようにしている。学年末に寄付量の発表をする。

### (5) 校内年賀状

校内年賀状の準備・配達を行う。1年生には、縦割り班の6年生が書き方を教える時間を設けている。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

「1年生を迎える会」では、進行を全て児童が行い、計画・準備を含め、児童主体の行事である。終了後、委員会児童は達成感を味わっていた。縦割り班活動では、「縦割りコーナー」という掲示コーナーを設置し、各班の計画等を知らせている。各班の活動の視覚化により、6年生の中にリーダーとしての自覚が高まり、率先して活動する場面も増えた。高学年としてどう下学年と関わるかを考え、実践するという異学年集団活動の良さが見えてきた。

### (2) 課題

児童による自主的、実践的な集会活動をより充実させるために、時間や場所を定期的に確保し、常に新たな試みができるよう環境を整えておく必要がある。また、全校での活動の充実を図るために、日頃の学級での話し合い活動を充実させる必要がある。